令和８年度

北山小学校グランドデザイン

《縄文のビーナスプラン１》

～みんなが縄文のビーナスのように
輝くことを願って～

「みんな同じ」から一人ひとりの多様性と力・よさを伸ばす教育へ

・生き方教育　・調べる学習コンクール
・読書・図書館教育　・キャリアパスポート
・ICT教育　・特別支援教育
・子どもサポートセンター（ミニサポートルーム）
・縄文・市民科

茅野市の特色ある教育

《心のよつばのクローバープラン》

《茅野市の教育》

21世紀を切り拓く 心豊かで
たくましく、やさしい、夢のあるひと育ちの教育
～自分の人生・自分たちが生きていくまちの未来をえがく教育～

学校教育目標

純朴にして たくましい子ども

～北山を愛し、
北山に誇りを持つ子どもの育成～

《茅野市小中学校で大事にすること》

子ども理解　授業改善　学級づくり
（学びの集団づくり）

《北部中学校区9年間の目標》

豊かな自然・文化の中で、支え合い、たくましく、共に考え、未来の地域をつくる子ども
～縄文人の心・生き方に学ぶ～

《縄文のビーナスプラン2》

北部中学校区の特色ある学び
9年間をつなげる縄文市民科
（共生社会の実現をめざす子どもたちの育成）

体験を元にした探究的な学び
（TOCO-TON探究推進）

《児童のよさ・課題》

・素直でのびのび
・仲がよい　・優しい
・見ている世界が狭い
・伝える事が苦手

《研究テーマ》

子どもが子ども同士の言葉で、学び深め合う授業づくり
～伝える・比べる・まとめる～

育みたい子どもの姿

自分で考え行動する

一人になれる一つになれる　人も自分も大切にする

《取り組みの具体》

『一人になれる一つになれる子ども』を育むために

○「わかる」「できる」学習
・学力差や得意不得意に応じた学習
・視覚支援 学びの足跡が見える板書
・学び直しによる基礎学力の定着
・日常的なICTの活用
・複数の職員で育む教科担任制

○みんなが生活しやすい環境づくり
・時間・ルールを守る行動の習慣化
・受け止め、自ら考えさせる指導
・教師自ら、気持ちのよいあいさつ
・連学年で子どもたちを育む

『自分で考え行動する子ども』を育むために

○「自ら考える」授業
・“願い”や“問い”から出発する追究
・子どもが自ら動く環境構成
・友だちと考え合う場面の日常化
・「ことば」と「こころ」を育む読書・図書館教育（調べる学習コンクール）
・互いに学びあう職員集団

○子ども達がつくる学級・学校生活
・育ちにつながる学級活動・行事
・自身の力を試す児童会等の活動
・心のゆとりを持つための業務改善

『人も自分も大切にする子ども』を育むために

○一人を大切にする支援
・支援会議で具体的方策を見出す
・自己肯定感を高める言葉がけ
・いじめが起きない・見逃さない体制
・子どもを大切にする言葉遣い・伝え方
・所属感と居場所づくり（サポートルーム）
・自分を認める振り返り（キャリアパスポート）

○人とのつながりのなかで学ぶ
・幼保小中の連続的な支援
・縦割り班・姉妹学年による交流
・お互いのよさを認め合う場づくり

全ての職員で、全ての子どもを育てる（一人ひとりの多様性とよさをとらえ、伸ばす）

縄文のビーナスプラン1

ふるさと「北山」に生きる（地域に生まれ、地域とともに成長する子ども）

○地域に出かけ、教室で学べない事を五感で感じる　探究的な学びの実践（縄文・市民科）
○地域の課題に向き合い、地域のために出来ることに取り組む
○地域の「ひと」「こと」「もの」に学ぶ　北山の素材を教材化した授業実践

縄文のビーナスプラン2

《地域・保護者との連携》

《家庭教育・PTA》
・基本的な生活習慣の確立
・PTA諸活動の協力・連携

《北山小コミュニティ・スクール》
・地域の方々と共に、子どもを育てる
・学校支援ボランティアによる支援

《外部諸団体》
・子ども家庭センター　民生児童委員
区長会　各ボランティア団体との連携

《今年度の重点》

自分の言葉で伝えよう（2年次）
自分の考え　友だちのよさ